

■令和7年度こどもを育てる地域の連携事業費補助金により取り組む重点事業の実施状況

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
関川村	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	学校以外での体験活動の場が少なく、特に地域の大人と関わる機会が減っており、伝統的な遊び等の継承が難しい。	放課後子ども教室を実施し、地域の大人がサポーターになることで、児童と地域の大人、保護者と地域の大人が関わる機会を増やしてきた。	放課後子ども教室のサポーターだけでなく、体験活動等を実施する際に、地域の方に講師になってもらい、サポーターとは別の角度で子どもたちにかかわってもらう機会をつくる。 放課後子ども教室の時間帯を使い、保護者も参加できるワークショップ等を実施し、保護者と、サポーター、ワークショップ講師の関わりが子どもをとおしてできるようにする。	実施する体験活動を通して、知識と経験を身につけ、地域の大人と関わりあえる児童が増える。	週1回以上放課後子ども教室に参加する児童の割合	30	%	35	34	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	・体験活動等に保護者の参加を呼びかけたことで、子どもたちが地域の大人と関わる機会を作れた。今後も、体験活動等を通して地域の方と関わる機会を作っていきたい。
関川村	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	一村一校なので、通学範囲が広く、保護者同士、地域の大人等の大人同士の関わりも希薄になりつつあり、子どもの安全・安心な育ちに影響が大きい。	放課後子ども教室を実施し、地域の大人がサポーターになることで、児童と地域の大人、保護者と地域の大人が関わる機会を増やしてきた。	放課後子ども教室の時間帯を使い、保護者も参加できるワークショップ等を実施し、保護者と、サポーター、ワークショップ講師の関わりが子どもをとおしてできるようにする。	また、保護者同士、地域の大人と保護者のつながりができ、子どもの健全育成につながる。	年2回以上、保護者や地域の大人が参加できるワークショップを放課後子ども教室の中で実施する。	0	その他	2	1	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・保護者ボランティア兼参加者という形で募集して、子どもたちやボランティアの方と交流してもらった。1回しか実施できなかったのも、今後は事業の回数を増やせるようにしたい。